

今こそ
若い力で
新しい習志野。

Report

関根ひろゆき

No
65



令和七年第三回定例会
市政報告

創業のまち習志野に向けた政策の充実について

Q: 市内法人数、新規設立法人数及び現習志野市産業振興計画における目標値に対する現状について伺う。

A: 市内法人数は3,500法人を目標としていたが、令和6年度末時点で3,505法人となり、目標を達成している。一方で新規設立法人数は1,600件の目標に対し、963件。

Q: 本市の特性や強みを生かした産業振興とは何か。

A: 一点目は、優れた交通アクセス。二点目は、市内に3大学が集積していること。優れた交通アクセスを生かしつつ、3大学を活用した産学官連携によって産業振興を図っていく。

※3大学とは、**日本大学、千葉工業大学、東邦大学**

創業のまち習志野への想い

要望: 習志野市内には**余剰の土地はない**。仮に大手企業が本社の移転等を考えた時にはその選択肢にはなかなか入ってこないのが現状だと考えます。また**企業誘致に関しても財政規模の大きな近隣の千葉市や船橋市にはなかなか金銭面での太刀打ちが出来ない**。

企業誘致が難しい中で、特性を活かして創業を支援していくことが現実的な政策であると考えます。パソコン一つで、あるいはレンタルオフィスやシェアオフィスで起業する方も多くいらっしゃいます。これだけ市域の小さいまちで、3大学が集積し、都内へのアクセスをはじめとした交通利便性の高いまちも少ない。

日本大学生産工学部においては、**起業支援プログラム**にも力を入れており、今後各大学にも広がっていくものと推察をしています。この流れやまちの特性をしっかりと活かして、若者の活気が溢れる**創業のまち習志野**を作っていただくと同時に**既存の中小企業の育成にも力を注いで**いただくように要望。

Q:新習志野駅勢圏活性化に向けた土地の在り方についてどのように考えるか。

A:現在の良好な住環境と産業環境を維持・保全しつつ、活性化に向けた土地利用の促進を図る方向性を示した。

一方で、用途混在による産業業務環境への影響など課題が想定されることから、慎重に進めていく事が重要である。

Q:新習志野駅南側には、定住に必要な公共・公益施設が整備をされていない。整備のコストはどの程度かかるのか。

A:南側には生活に必要な公共・公益施設は整備してきていない。今後様々な課題と合わせて、整理、検討する必要がある。

新習志野駅勢圏の活性化に対する想い

習志野市は本市不変の理念であります「**文教住宅都市憲章**」のもと、良好な住環境、産業環境を維持すべく、住工混在地域から**住工分離**を目指してこれまでまちづくりを進めてきた歴史があります。

茜浜・芝園地区の地区計画では、「既成市街地内の住工混在解消の受け皿として、都市再開発用地が配置され、移転してきた企業が立地しています。**この区域には、都市施設を除き定住に必要な公共・公益施設が配置されておられません**」と記載をされております。

仮にここに住宅を誘致ということを考えていく場合には、現時点では定住に必要な公共・公共施設がない以上、施設の整備あるいは各種計画の変更、そして何よりも基本構想よりも上位に位置する**文教住宅都市憲章との兼ね合い**ということも大いに考えていかなければならないと考えます。

私は、長年かけた住工分離、一定のめどついたであれば、この**住工分離を生かしたまちづくり**をしていくということも大きな方向性の一つだ考えております。

既に整えられている既存市街地の再生、これを通じた世代構成の平準化、定住促進を促す施策の強化を図っていくべきです。

活動報告

Report 関根ひろゆき



Instagram



ホームページ

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年二期目の当選

2023年三期目の当選



発行:関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 :047-779-4092

討議資料